

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第497号
令和5年3月16日発行



「自分らしさ」と

「仲間」を大切に

校長 疋田 敦士

小学部3名、中学部6名、高等部6名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

それぞれの学部で過ごした日々を振り返ると、この三年間は、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、各学部の行事や活動そして日々の学習に、前向きに全力で取り組んでいました。特に、この一年間は、運動会やすなやま祭など様々な場面で、各学部のリーダーとして責任感あふれる態度で臨み、下の学年を優しく導いてくれました。

中学部、高等部、そして社会へとステップアップする皆さんへ、卒業という門出に当たり、二つの言葉を贈ります。

一つ目は「自分らしさ」です。

自分らしさに自分で気づくのは、なかなか難しいことです。きっと、自分らしさとは、最初から持っているものではなく、人と出会い、関わり、感じる中で、自然と創られていくものだと思います。自ら行動し、夢中になって取り組むことで、あなたらしさが磨かれていきます。

人は一人一人、考え方も感じ方も心の育ちも、みんな違います。他人と比べる必要などありません。これから、色々なことにチャレンジしていく中で、自分らしさを存分に発揮していきましょう。

二つ目は「仲間」です。

仲間とは、「同じ目的に向かって、一緒に物事に取り組む人」のことです。つまり、学校生活では、勉強や遊びを一緒にする人、社会にいれば、仕事や趣味を一緒にする人となります。

これまでも、皆さんは多くの仲間と共に過ごし、力を合わせる大切さや、相手を思いやることの素晴らしさを学んできました。そのことは、一人一人の確かな成長につながっているのです。そして、四月からは新しい仲間との出会いが、皆さんを待っています。これからも仲間を大切に、互いに学び合い、認め合い、高め合っていってください。

保護者の皆様、ご家族の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。また、これまでの当校教育活動へのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。お子様が、今こうして、優しくたくましく成長することができたのは、深い愛情をそそぎ大切に育ててこられたことに他なりません。これからも、恵愛のまなざしで、お子様の成長を見守っていきましょう。



1年間を振り返って～各学部主事から～

「虹の架け橋！」

音楽で学習した「あしたははれる」の手話歌では、曲名にもなっている「あしたははれる」の部分を、片手で数字の「7」を表し、その手を大きく山型になぞることで表現します。これは七色の虹が空にかかる様子で、「虹」を表す手話表現になります。とはいえ、実際の虹はスペクトラムでつながっているのです。実は七色ではなく、その数は無限にあります。

1年間、図工や学部生単などで縦割り活動をする中で、互いに名前を呼び合う、視線を向ける、友達からの働き掛けに自分なりに応じるなど素敵な姿がたくさん見られるようになりました。それはまさに子供たちの世界が虹の架け橋となつてつながっていくようでした。そして、先日の六送会では、自信をもって中学部へ進む6年生、リーダーとして立派に役目を果たした5年生、素敵なメッセージを送った1～4年生それぞれの1年間の確かな成長を感じることができました。子供たちの可能性はまさに無限です。18人の子供たちの虹の架け橋が希望溢れる大空に伸びていくことを願っています。

小学部主事 片岡 真弥



「仲間とともに」

先日、中学部では卒業・進級を祝う会を実施しました。昨年はコロナ流行期と重なり、実施が難しい状況でしたが、各教室からのリモート参加という形で、予定した内容の一部を行いました。そして、令和4年度は、感染症予防としての学習環境の制限も少しずつ緩和され、中学部の子供たちは、様々な場面で学部や学級の仲間と大いに語り、励まし合い、目標に向かって一緒に取り組んできました。ともに学ぶ仲間の存在が、子供たちの成長にとっていかに重要なのか実感した一年でもあります。先日の卒業・進級を祝う会でも、チーム力を感じさせる場面はたくさん見られ、一人一人がお互いを認め、喜び合う姿に感動を覚えました。この中学部というチームをリードしてくてくれた3年生も、卒業です。新たなステップへ進むみなさんが、これからも仲間という宝物を大切に、一人一人が自分らしく活躍してくれることを願っています。

中学部主事 畠山 瞳



「高等部の1年間を振り返って」

今年度の高等部は「社会で自分らしく生きる人」を目指して「Passion (情熱)」「Positive (前向き)」「Person (人)」を合い言葉に学習に取り組んできました。どうしたら卒業後の自分のイメージに近づけるのかを教師との対話だけでなく、仲間と一緒に考えながら学び合ってきました。コロナ禍ではありましたが、高等部一丸となった「高等部体育祭」、自己理解を進めながら「働く力」を高めた職業生活、今年度から始まった選択音楽・美術の学習の成果を発表した「すなやま祭」でのステージ発表など、どの場面においても自分事として考え、全力で取り組んでいました。1年生は初めての高等部生活でしたが、生徒主体での話し合い活動に取り組む中で、仲間を認め合い、毎日、微笑みと情熱が溢れる温かい学級になりました。2年生は、卒業後の生活を実現するために今の生活を見つめなおし、なりたい自分に近づこうとする前向きな姿勢がたくさん見られるようになりました。3年生は、卒業後にしたい生活を実現するために自分だけでなく、周りの人を大切にしながら様々なことに団結して取り組み、全員が社会人としてのスタートラインに立つことができました。

高等部主事 保坂 吉彦



保護者の皆様、1年間、温かいご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。